

THE RECORD

新年のご挨拶

社団法人 日本レコード協会 会長 佐藤 修

Special Feature

中国への
音楽ビジネス・アプローチ

社団法人 日本レコード協会



Recording Industry Association of Japan

Contents

新年のご挨拶.....	2
Special Feature	
中国への音楽ビジネス・アプローチ	3
第13回日本プロ音楽録音賞 授賞式開催.....	6
INFORMATION SQUARE	7
Monthly Production Report	9
Gold Album+...認定	10

レコード産業の新時代に向けて

社団法人 日本レコード協会 会長

佐藤 修



新年あけましておめでとうございます。皆さまにおかれましては、健やかに新年を迎えられたことと心よりお慶び申し上げます。

昨年は、さまざまな場面において、これまで以上に音楽が話題として取り上げられ、配信による音楽の聴取やDVDによる音楽映像など、新しい音楽の楽しみ方は若年層を中心に広く定着した年となりました。その結果、CDの売上は依然厳しい状況が続いているものの、音楽配信も含む音楽ソフト全体での需要は昨年続き前年を上回ることができたものとみております。

現在、レコード産業を取り巻く環境はデジタル化、ネットワーク化、グローバル化の大きな変革期にあります。その中で我々は、産業の振興と環境の整備に向けさまざまな施策を展開しています。

昨年は放送と通信の融合問題が大きな話題となりましたが、我々はレコード音源を使用した放送番組のネットワークにおける二次利用を促進するため、秋には集中管理事業を開始しました。

また、音楽配信事業の環境を整備するため、配信統計の整備や配信チャート、配信認定の事業に着手するとともに、インターネットや携帯サイトでの不正利用を防止するため法的対応や著作権意識の普及啓発活動を継続強化してきました。今年もレコード産業の基盤である「音楽創造のサイクルの維持」を最優先テーマに掲げ、違法対策やデジタルコピー問題に真正面から取り組んでまいります。

世界の音楽産業において19世紀はヨーロッパ、20世紀はアメリカの世紀と言われてきましたが、今世紀はアジアに注目が集まっています。我々は、アジア各国の音楽市場対策に積極的に取り組んでいますが、昨年末、当協会が中国において「権利認証制度」の認証機関として承認を得た事は、その大きな成果といえます。今後も、アジア各国との音楽文化交流やライセンス拡大を粘り強く推し進め、知財立国の一翼を担っていきたいと考えております。

また、音楽CDの再販制度は我が国の優れた文化政策であり、その役割と重要性について、広く国民の皆さまから理解が深まるよう取り組んでまいります。

我々はレコード製作者を代表する団体として、またレコード製作者の権利を管理する団体として、レコード産業の将来に向けた環境整備と音楽文化の発展に向け、一層の努力を重ねてまいります。

本年も、皆さまにとって、幸多い年となることを祈念申し上げますとともに、一層のご指導、ご支援をお願い申し上げます。新年のご挨拶といたします。

中国への音楽ビジネス・アプローチ

—大規模商談会を伴った「日中音楽産業発展フォーラム」を、中国・北京で開催

当協会では、アジア各国との音楽文化交流の促進と音楽市場対策のため、さまざまな施策を実施しています。このたび、アジア音楽市場拡大委員会では、中国・北京において、「日中音楽産業発展フォーラム」を開催しました。今回の特集では、その模様をご報告します。

フォーラムに先駆けて、多角的な調査視察を精力的に実施

日本レコード協会(以下、RIAJ)は、11月30日に中国・北京のランドマークである華僑大廈にて、日中音楽産業発展フォーラムを開催しました。

このフォーラムは、経済産業省の「平成18年アジア地域におけるコンテンツ正規版流通促進事業『日本音楽コンテンツのライセンスプロセス等に関する調査事業』」の一環として実施されました。RIAJ、経済産業省、中国音像協会が共催し、中国文化部文化市場司、中国国家版權局の後援を受けています。日本および中国のレコード会社間の交流を深めることを通じ、日中の音楽文化と産業の発展を促進させることを目的としており、RIAJ会員社15社(うち、商談会参加8社)と中国音像協会推薦の9社のレコード会社が参加しました。

フォーラムに先駆けて、11月27日～29日には、佐藤会長を団長とする当協会訪中団が、関係各

位の訪問、視察を精力的に実施しました。これら一連の訪問・視察では、今まで日本のレコード会社にとってなじみの薄かった中国の音楽産業、複雑な制度や規制、著作権管理の実態についての理解を深めることが主な目的とされました。

まず、27日には、チャイナレコードを訪れ、中国の音楽産業の実態について、情報・意見交換を実施しました。翌28日には、中国文化部、中国国家版權局、中国音楽著作権協会(MCSC)等を表敬訪問し、情報・意見交換を行いました。こうした場においては、海賊版の実態やそ



11月28日 中国文化局を訪問



11月28日 国家版權局を訪問



佐藤会長と閻副局長

■ 日中音楽産業発展フォーラム概要

- 日時: 2006年11月30日
 場所: 華僑大廈(中国・北京市)
 主催: (社)日本レコード協会、経済産業省、中国音像協会
 後援: 中国文化部文化市場司、中国国家版權局
 スケジュール:
 ● 第1部 全体会議
 ● 第2部 基調講演
 1. 日本のレコード産業について (社)日本レコード協会 生野秀年専務理事
 2. 日本の音楽出版社機能について (社)音楽出版社協会 朝妻一郎会長
 ● 第3部 プレゼンテーション
 ● 第4部 商談会
 RIAJ会員社8社、中国音像協会推薦会社9社参加
 ● 第5部 懇親会

■ 日本側フォーラム参加会社(15社)

- コロムビアミュージックエンタテインメント(株)
 ビクターエンタテインメント(株)
 キングレコード(株)
 (株)ティチクエンタテインメント
 日本クラウン(株)
 (株)徳間ジャパンコミュニケーションズ
 (株)ソニー・ミュージックエンタテインメント
 (株)ポニーキャニオン
 (株)バップ
 ジェネオン エンタテインメント(株)
 エイベックス・マーケティング・コミュニケーションズ(株)
 (株)ドリーミュージック・
 (株)ジャニーズ・エンタテインメント
 (株)エル・ディー・アンド・ケイ
 (株)ジェイストーム



写真左：
11月29日 中国通信企業
協会を訪問

写真右・下：
レコード専門店や卸店を
視察

の撲滅への取り組みを含め、中国の音楽市場が抱える問題点や課題、急速に整備されつつある法制度などをテーマに踏み込んだ議論が展開され、相互に理解を深めることができました。また、一方中国では携帯電話の著しい発展に伴い、音楽コンテンツの流通が多様化するなど、音楽を取り巻く市場環境は急速に変化しています。当協会訪中団は、最新の中国音

楽配信市場の実態を把握するため、29日に、中国通信企業協会、チャイナモバイルを訪れ、意見交換も行いました。また、併せて、レコード専門店や卸店等の実態を把握するために市場視察を実施しました。中国音楽市場の実態をつぶさに視察することにより、今後のビジネス展開を考える上での、貴重な知見が得られました。



熱気に包まれた、初の日中双方レコード会社合同商談会

フォーラム当日には、まず主催者、両国政府関係者を代表して、アジア音楽市場拡大委員会委員長でもある当協会榎本和友副会長、中国音像協会劉国雄会長、経済産業省青崎智行商務情報政策局課長補佐、中国文化部文化市場司傅燕梅司長代理、中国国家版權局版權管理司許超司

長の5名から、友好的な雰囲気を取り上げる挨拶が行われました。その後、「日本のレコード産業について」のテーマで当協会生野秀年専務理事が、「音楽出版社の機能について」のテーマで(社)音楽出版社協会朝妻一郎会長が、基調講演を行いました。



全体会議の様様

■ 国内セミナー「中国ライセンス実態について」を開催



11月20日、「日中音楽産業発展フォーラム」の先駆けとなるセミナーが開催されました。このセミナーは、中国でのライセンスビジネスの実態把握および契約実務に関する知識を事前に得る目的で行われ、フォーラム参加者を含め、レコード各社の法務・契約担当者や海外マーケティング担当者52名が参加しました。

冒頭で、経済産業省商務情報政策局メディアコンテンツ課の青崎智行課長補佐が、今回訪問する文化部や国家版權局など国家機関を中心に、コンテンツ産業関連部署の役割と現況について解説しました。

続いて出版業界から、現地法人開設、「ViVi」ライセンス等で著名な講談社北京文化有限公司の阿久津勝総経理が、中国での出版ビジネスの現況について講義し、対中ビジネスの難しさなどを説明しました。

またアニメ分野では、(株)手塚プロダクション著作権事業局営業第2部の湯本裕幸部長が、対中ビジネス展開をテーマとして、海賊版対策を軸に講義を行いました。「海賊版に屈することなく価格設定を考慮した上で正規版を販売することが権利者の務めである」等のアドバイスがありました。

最後に近藤丸人弁護士が、中国におけるライセンス契約の実情や原盤権ビジネスの法的構成、外国原盤によるCD販売までの手続きおよび音源使用許諾ライセンスの実務について講義を行いました。契約書(日本語)のひな形が配布され、各条項の説明から関連法令の概説まで詳細に解説しました。

セミナー参加者へのアンケートでは、映画やテレビ番組のライセンス実態についてセミナー開催の要望が寄せられました。

そして、いよいよ日本側8社、中国側9社が参加するプレゼンテーションに移行し、相互に、映像による所属アーティストや楽曲の紹介を行いました。引き続き行われた商談の場は大変な熱気に包まれ、両国それぞれの音楽市場に対する期待が

うかがわれ、十分に手応えを感じる場となりました。商談会終了後のアンケートでは、中国側参加者から多数の建設的な意見が寄せられ、同フォーラムの継続的な実施に対する期待の声も上がっていました。



挨拶をする榎本和友副会長



熱心な商談に臨む参加者の方々



フォーラム出席者全員で

RIAJインタビュー

「日中音楽産業発展フォーラム」のプロジェクト座長を務められたビクターエンタテインメント(株)の大槻洋之氏から、このプロジェクトで得られた成果についてコメントをいただきました。

激変する中国音楽市場の現場に触れて

今回のフォーラムは、経済産業省の調査事業の一環であり、中国音楽市場を知り、どうアプローチすべきか探ることがテーマの一つでした。視察を通じて、そのダイナミックな変動とビジネス上の課題を目の当たりにできたことが、大きな成果でした。印象的だったのは、配信ビジネスの急拡大に伴う問題です。音楽をよく知らないネットワーク事業者が多数参入したことから問題が表面化し、特にネット海賊の急増は深刻です。またカラオケ店での違法な音楽使用の実態も判明して、ショックを受けました。一方で中国政府関係者との協議から、海賊版に対する厳しい姿勢、意欲的な取り組み内容を詳しく知ることができ、非常に心強く感じました。

初の試みとなった現地レコード会社との商談会では、本音で語り合い、引き合いもいただいて、ますますのすべり出しになりました。熱の入った相互売り込みで、中国の音楽ビジネス育成を真剣に語る場にもなったと感じました。中国側の参加者からは、「音楽交流は文化の相互理解を促進し、国民感情の潤滑油になる。そういう重要な役割を担っているという意識で臨んでほしい」という意見もいただきました。その観点からも、単にCDのパッケージを売るだけではなく、アーティストの権利をきめ細かく展開する総合的なビジネスができれば、成功につながるとの感触を得ました。このフォーラムがそのきっかけになるイベントとして定着してほしいと思っています。(談)



ビクターエンタテインメント株式会社
ライツビジネス本部 ライセンス部長
大槻洋之氏

第13回日本プロ音楽録音賞 授賞式開催

12月6日、東京都港区の虎ノ門パストラルにおいて、(社)日本オーディオ協会、(社)日本音楽スタジオ協会、日本ミキサー協会、演奏家権利処理合同機構Music People's Nestおよび当協会主催による第13回日本プロ音楽録音賞授賞式を開催しました。

この賞は、音楽とオーディオ文化の向上に努める録音エンジニアの感性と技術にスポットライトを当て、音楽制作および録音に対する一般ユーザーの認識を高めるとともに、音楽とオーディオ産業のソフト分野における録音エンジニアの一層の技術の向上、ならびに地位の確立を目指すものです。

第13回を迎えた今回は、62作品の応募があり、審査委員会の厳正な審査の結果、3つの部門から合計8作品が優秀賞として選ばれました。当日は、優秀作品の表彰と、それらの中から各部門の最優秀作品とそのエンジニアが発表され、併せて表彰が行われました。

当協会からは、田辺専務理事がプレゼンターとして参加し、「部門A CDパッケージメディア(ジャンルを問わず、CDパッケージとして発売された作品)」の優秀作品ならびに最優秀作品の表彰を行いました。



表彰を行う田辺専務理事

● 最優秀賞受賞作品

部門A 「CDパッケージメディア」

「after six」(VICL-61882)より「after six pm」
paris match
発売元:ビクターエンタテインメント(株)
メイン・エンジニア:谷田 茂(ビクターエンタテインメント(株))
マスタリング・エンジニア:川崎 洋(FLAIR MASTERING WORKS)



部門B 「ニューパッケージメディア」

「BIG BAND STAGE」(MLZJ-2001~2)より「Splanky」
角田健一ビッグバンド
DVD-Audio 5.1ch
発売元:(株)ミキサーズ・ラボ
メイン・エンジニア:内沼映二((株)ミキサーズ・ラボ)
マスタリング・エンジニア:田中龍一((株)ミキサーズ・ラボ)
アシスタント・エンジニア:阿部勝行((株)ミキサーズ・ラボ)
アシスタント・エンジニア:山口桃子(ビクターエンタテインメント(株))



部門C 「放送メディア」

「PARKER'S MOOD」「SADAO & CHARLIE ~再会のとき~」より
渡辺貞夫、チャーリー・マリアーノ
NHK HDTV 2006年3月4日放送 5.1ch
メイン・エンジニア:稲田一俊(NHK 放送技術局 報道技術センター)
アシスタント・エンジニア:大塚文彦(NHK 放送技術局 報道技術センター)
アシスタント・エンジニア:藤本直樹(NHK 放送技術局 報道技術センター)



2006年度「Respect Our Music」 キャンペーン第2弾スタート

昨年11月号でも紹介しましたが、当協会は現在2006年度の「Respect Our Music」キャンペーンを展開中です。

この「Respect Our Music」キャンペーンは、音楽の不正コピー・アップロード対策として、音楽関連団体、作詞・作曲家、アーティスト、販売店、音楽専門メディア等多くの関係者の協力を得て、音楽を正しく聴くことの大切さを広く社会に理解してもらうことを目的とし、2002年秋から継続的に展開している著作権啓発のためのキャンペーンです。今年度は、平原綾香さん、w-inds.さん、北山たけしさんの計3組のアーティストにご協力いただき、昨年10月から展開中です。

今年度、第2弾となるw-inds.さんの展開では、12月15日から、全国レコード店でのポスター掲出、当協会公式サイト(PC・モバイル)上での特集ページの設置、アーティスト動画メッセージの発信、広告出稿、レコード会社・音楽関係団体・インターネットプロバイダー等の各サイト上のリンクバナー掲出、オリジナルギフトカードによるパブリシティー等を行っております。

当協会佐藤会長、模倣品・海賊版撲滅キャンペーンで 甘利大臣に海賊版侵害状況を説明

12月15日、特許庁が主催する模倣品・海賊版撲滅キャンペーン「だから、私は買わない」のマスコミ発表が、経済産業省にて行われ、当協会の佐藤会長が参加しました。

マスコミ発表では、冒頭に、甘利経済産業大臣が、模倣品・海賊版の販売によって得られた資金が組織犯罪に利用されるケースを説明され、「だから、私は買わない」というこのキャンペーンの趣旨をアピールしました。

続いて、模倣品・海賊版の展示ブースを視察し、関係団体・企業の代表者等と侵害状況について意見交換をしました。

佐藤会長は、展示ブース内の音楽DVDの海賊版について、制

作したコンテンツがデジタルでコピーされ、流通している実態を説明しました。これを受け、甘利大臣は、海賊行為は新しい音楽を生み出す力、創造のサイクルの破壊に通じる行為であると指摘し、コンテンツ産業に及



状況説明の様子

ぼす悪影響に深い理解を示しました。

12月14日から27日までの間実施された本催しでは、様々な模倣品や海賊版が陳列され、その販売の実態や消費者が受ける被害についてのパネルが展示されました。

このマスコミ発表には、中嶋特許庁長官、細野製造産業局長、宗国国際知的財産保護フォーラム座長、デュボア ユニオン・デ・ファブリカン日本代表、斎藤エルメス・ジャパン社長らが出席しました。

一日税関長AAAさんによる 海賊版・還流レコード撲滅キャンペーン開催



一日税関長任命式の様子

横浜税関では、11月28日の税関記念日にエイベックス・エンタテインメント(株)の協力を得て、AAA(トリプル・エー)さんによる海賊版・還流レコード撲滅キャンペーンを

実施致しました。このキャンペーンは、CD、DVDなどの海賊版や還流レコードなどの知的財産を侵害する物品を日本に「持ち込まない」、「買わない」ことをPRするために実施されたものです。

当日は、横浜税関の谷川税関長からAAAさんに「委嘱状」が交付され、記者会見、知的財産侵害物品等の取り締まりについての視察、続いてキャンペーン会場にてミニライブ&トークを行い、来場者にメッセージを送りました。会場には、平日にも関わらず多数の来場者があり、音楽を購入する若年層に対しても訴えかけ意義深いキャンペーンとなりました。

第2回「レコードファン感謝祭2006 廃盤CD特別謝恩セール」開催のお知らせ

当協会加盟26社は、昨年秋の第1回開催に続いて、1月26日(金)から2月9日(金)の2週間、インターネットを利用した通信販売による「レコードファン感謝祭2006 廃盤CD特別謝恩セール」の第2回を開催します。第1回の期間中は大変多くの方にアクセスをいただき、ご好評を得ました。なお、第2回の詳細につきましては、ホームページ(<http://fair.jmd.ne.jp>)をご覧ください。

■開催日程

1月26日(金) 15時~2月9日(金)

※1月10日(水)から事前の商品閲覧とユーザー登録ができます。商品のご注文は1月26日(金)15時から開始します(先着順)。



RIAJ、ACCS、JIMCA、JVAの4団体 大阪府警察本部に感謝状を贈呈

11月12日、当協会および(社)コンピュータソフトウェア著作権協会(ACCS)、日本国際映画著作権協会(JIMCA)、日本映像ソフト協会(JVA)は、9月に実施された大阪府警察本部生活安全特別特捜隊と浪速署をはじめとする19警察署の大阪・日本橋の電気街(通称・でんでんタウン)における露天商の一斉取り締まりによる著作権侵害の刑事摘発について感謝の意を表しました。

この事件は、権利者に無断で複製した音楽CDやDVDなどの海賊版を大阪・日本橋の電気街にて販売していた大阪市の無職男性(39歳)ら27人(20人逮捕、7人を取り調べ)を著作権法違反の疑いで検挙したものです。

この日、当協会業務部の阿部担当部長および株式会社モリサワ取締役執行役員社長室森澤室長(ACCS)、飯山代表(JIMCA)中井業務部長(JVA)らが、大阪府警本部生活安全部を訪問し、小島隆雄生活安全部長に感謝状を贈呈しました。各団体からは、海賊版販売の露天商取り締まりの中でもまれにみる規模(人数)の捜査員による取り締まりの実施により多数の逮捕者が出たとして、大阪府警本部の著作権侵害事件に対する積極的な捜査を通じて適切な権利保護が実現されたことについての謝辞が述べられました。小島生活安全部長からは、大阪日本橋の海賊版販売露天商が一日も早く根絶するよう、今後も適切な取り締まりを展開していく方針であることが伝えられました。

当協会では、今後も、海賊版CDやDVDの販売などの侵害行為の撲滅のため、警察や他団体と連携を強化して、積極的に取り組んでいき、音楽文化の健全な発展に寄与していきます。



感謝状贈呈の様子

YouTube社に著作権侵害行為の事前防止策を要請

12月4日、当協会を含む23の著作権関係権利者の団体・事業者は、動画投稿サイト「YouTube」上に多数の映像作品が違法にアップロードされている問題について、米国YouTube社に対して、著作権侵害行為の事前防止策を講じるよう要請文書を送付しました。

上記要請文の要点は、違法アップロードの蔓延によってデジタルミレニアム著作権法(DMCA)に基づく削除要請「Notice & Takedown」が十分に機能していないことを踏まえ、YouTube社に対して技術的手段や工夫により違法行為を予防する措置を講じるよう要請するものです。また、YouTube社がそのような予防措置を講じるまでの暫定的な対策として、3項目の要請を行いました。

当協会を含む上記団体・事業者は、本年10月2日から6日までの間、YouTube社に対し集中的に著作権侵害ファイルの送信防止措置要請を行っており、その結果、要請した約30,000ファイルが全て削除されました。しかし、その後もYouTube上に依然として多くの映像作品が違法にアップロードされ続けている事態にかんがみ、今回の要請文書を送付することになりました。

当協会は、今後の対応について検討を行う予定です。

会員社のお知らせ

■事務所移転(12月15日付)

株式会社エル・ディー・アンド・ケイ(準会員)

新住所: 〒150-0002 東京都渋谷区渋谷1-11-1

COI西青山ビル3階

TEL: 03-5464-7411 FAX: 03-5464-7412

● 2006年12月会議メモ

- 12・4 二次使用料委員会
- 12・5 法制委員会
- 12・6 マーケティング委員会
- 12・8 レコード倫理審査会
- 12・15 執行委員会
- 12・18 アジア音楽市場拡大委員会

お詫びと訂正

本誌12月号特集9・10頁の菊池一仁氏のお名前表記の一部誤りがございました。ここにお詫びして訂正します。

2006年11月度レコード生産実績

11月度の音楽ソフト(オーディオレコード・音楽ビデオの合計)生産実績は、数量で前年同月比103%の3,883万枚・巻、金額で同106%の490億円となりました。このうち、オーディオレコードは、数量で前年同月比102%の3,281万枚・巻、金額で同107%の420億円となりました。また、音楽ビデオは、数量で前年同月比113%の602万枚・巻、金額で同102%の70億円となりました。この結果、2006年11月までの音楽ソフトの累計は、数量で前年を若干上回り前年同期比100%の3億1,580万枚、金額では同98%の3,695億円となりました。

● オーディオレコード

(数量:千枚・巻/金額:百万円)

			11月実績				2006年(1月~11月)累計							
			数量	構成比	前年同月比	金額	構成比	前年同月比	数量	構成比	前年同期比	金額	構成比	前年同期比
シ	8cmCD	邦	19	0	61%	11	0	61%	1,482	1	94%	327	0	129%
		洋	18	0	583%	10	0	892%	191	0	107%	45	0	230%
		計	36	0	108%	21	0	113%	1,673	1	95%	372	0	136%
ン	12cmCD	邦	6,662	20	107%	5,232	12	111%	61,907	23	108%	47,787	15	107%
		洋	23	0	32%	18	0	35%	400	0	64%	285	0	63%
		計	6,685	20	107%	5,250	12	110%	62,307	23	107%	48,072	15	107%
ル	小計	邦	6,681	20	107%	5,243	12	111%	63,389	23	108%	48,115	15	108%
		洋	41	0	53%	29	0	54%	591	0	74%	330	0	70%
		計	6,722	20	107%	5,272	13	110%	63,980	23	107%	48,444	15	107%
12cmCD アルバム	邦	18,056	55	98%	26,360	63	103%	129,719	47	94%	181,881	57	95%	
	洋	7,577	23	110%	9,914	24	119%	73,025	27	100%	83,696	26	97%	
	計	25,633	78	101%	36,274	86	107%	202,743	74	96%	265,576	83	96%	
CD 合計	邦	24,737	75	101%	31,603	75	104%	193,107	71	98%	229,995	72	97%	
	洋	7,618	23	109%	9,942	24	118%	73,616	27	100%	84,025	26	97%	
	計	32,355	99	102%	41,545	99	108%	266,723	98	98%	314,021	98	97%	
アナログ ディスク	邦	3	0	21%	6	0	31%	132	0	61%	164	0	61%	
	洋	15	0	108%	7	0	25%	99	0	156%	156	0	143%	
	計	18	0	63%	12	0	27%	231	0	82%	320	0	85%	
カセット テープ	邦	399	1	63%	372	1	65%	6,054	2	89%	5,121	2	88%	
	洋	0	0	-	0	0	-	12	0	63%	9	0	56%	
	計	399	1	63%	372	1	65%	6,066	2	88%	5,131	2	88%	
その他	邦	33	0	333%	73	0	462%	222	0	104%	479	0	153%	
	洋	8	0	53%	15	0	59%	109	0	59%	204	0	56%	
	計	41	0	169%	88	0	214%	331	0	83%	682	0	101%	
合計	邦	25,173	77	100%	32,053	76	104%	199,515	73	98%	235,759	74	97%	
	洋	7,641	23	109%	9,964	24	118%	73,836	27	100%	84,394	26	97%	
	計	32,814	100	102%	42,018	100	107%	273,352	100	98%	320,154	100	97%	

● 音楽ビデオ

			11月実績				2006年(1月~11月)累計						
			数量	構成比	前年同月比	金額	構成比	前年同月比	数量	構成比	前年同期比	金額	構成比
DVD	邦	5,253	87	113%	5,761	83	99%	37,155	88	124%	41,183	83	112%
	洋	721	12	116%	1,106	16	127%	4,664	11	85%	7,199	15	84%
	計	5,974	99	113%	6,867	99	102%	41,819	99	118%	48,382	98	107%
テープ・LDその他		44	1	70%	90	1	73%	631	1	82%	969	2	75%
合計	邦	5,297	88	112%	5,850	84	98%	37,778	89	123%	42,139	85	111%
	洋	721	12	116%	1,106	16	127%	4,672	11	84%	7,212	15	83%
	計	6,018	100	113%	6,956	100	102%	42,450	100	117%	49,351	100	106%

● 音楽ソフト(オーディオ/音楽ビデオ合計)

	11月実績						2006年(1月~11月)累計					
	数量	構成比	前年同月比	金額	構成比	前年同月比	数量	構成比	前年同期比	金額	構成比	前年同期比
オーディオ	32,814	85	102%	42,018	86	107%	273,352	87	98%	320,154	87	97%
音楽ビデオ	6,018	15	113%	6,956	14	102%	42,450	13	117%	49,351	13	106%
合計	38,832	100	103%	48,974	100	106%	315,802	100	100%	369,505	100	98%

● ビデオ(含音楽ビデオ)

	11月実績						2006年(1月~11月)累計					
	数量	構成比	前年同月比	金額	構成比	前年同月比	数量	構成比	前年同期比	金額	構成比	前年同期比
DVD	10,392	99	62%	18,220	99	99%	90,374	98	75%	154,202	98	100%
テープ・LDその他	62	1	37%	143	1	27%	1,616	2	57%	2,926	2	35%
合計	10,454	100	62%	18,363	100	97%	91,990	100	75%	157,128	100	96%

● オーディオ/ビデオ合計

	11月実績						2006年(1月~11月)累計					
	数量	構成比	前年同月比	金額	構成比	前年同月比	数量	構成比	前年同期比	金額	構成比	前年同期比
オーディオ	32,814	76	102%	42,018	70	107%	273,352	75	98%	320,154	67	97%
ビデオ	10,454	24	62%	18,363	30	97%	91,990	25	75%	157,128	33	96%
合計	43,268	100	88%	60,381	100	104%	365,342	100	91%	477,282	100	97%

備考 1.上記実績は、会員会社「42社」の集計である。当会員社が受託した非会員社からの販売委託分を含む。
2.単位未満四捨五入により、内訳と合計が一致しない場合がある。
※オーディオレコードのその他はSACD、DVDオーディオ、DVDミュージック、MDの合計。

音楽ソフト

邦楽

アルバム

● 2ミリオン ALL SINGLES BEST	コブクロ	2006.09.27	WJ
● トリプル・プラチナ First Message	絢香	2006.11.01	WJ
● ダブル・プラチナ ALL THE BEST Secret	CHEMISTRY 浜崎あゆみ	2006.11.22 2006.11.29	DF AVT
● プラチナ 夕風ブレンド BESTYO m-CABI	スキマスイッチ 一青窈 ボルノグラフィティ	2006.11.29 2006.11.29 2006.11.22	BMG C SE
● ゴールド Be as One ナルキッス Two You Four You I LOVE PARTY PEOPLE 「のだめオーケストラ」LIVE! Be as one Flash and Gleam	ゴスペラーズ サディスティック・ミカ・バンド タッキー&翼 DJ OZMA のだめオーケストラ他 melody. レミオロメン	2006.11.22 2006.10.25 2006.11.15 2006.11.15 2006.11.15 2006.04.12 2006.11.01	KS C AVT TO ES TF V

シングル

● ダブル・プラチナ しるし ENDLESS STORY	MR.CHILDREN REIRA starring YUNA ITO	2006.11.15 2005.09.07	TF SR
● プラチナ WON'T BE LONG Harmony of December 涙のふるさと	EXILE & 倅田来未 KinKi Kids BUMP OF CHICKEN	2006.11.22 2006.11.29 2006.11.22	AVT JE TF
● ゴールド 千の夜をこえて 君の好きなたた ばくはくま 駅 恋愛写真 金木犀 もしも雪なら/今日だけは 一色 Joy Trip Winter Love クリスマス約束 Ready Go!	Aqua Timez UVERworld 宇多田ヒカル 大川栄策 大塚愛 伍代夏子 DREAMS COME TRUE NANA starring MIKA NAKASHIMA BENNIE K BoA ゆずおだ WaT	2006.11.22 2006.11.15 2006.11.22 2005.08.31 2006.10.25 2006.01.01 2006.11.29 2006.11.29 2006.11.08 2006.11.01 2006.11.29 2006.11.01	ES SR TO C AVT SR UM AI FL AVT SN UM

洋楽

アルバム

● プラチナ LOVE プリンセス・ファーギー	ザ・ビートルズ ファーギー	2006.11.20 2006.09.13	TO UM
● ゴールド ストップ・ザ・クロックス フューチャー・セックス/ラヴ・サウンズ ハイ・タイムズ: シングルス 1992-2006 ザ・ベスト・オブ U2 18 シングルス ワッツ・アップ? R&B グレイテスト・ヒッツ DJ KAORI'S インミックス II	OASIS ジャスティン・ティンバーレイク JAMIROQUAI U2 VARIOUS VARIOUS	2006.11.15 2006.09.20 2006.11.08 2006.11.22 2006.09.06 2006.11.01	SI BMG SI UM UM UM

※日付は発売日

有料音楽配信(「着うた(R)」他)

「着うた(R)」

● ミリオン 三日月 WON'T BE LONG 夢のうた	絢香 EXILE & 倅田来未 倅田来未	2006.09.06 2006.10.26 2006.10.11	WJ AVT AVT
● トリプル・プラチナ 恋愛写真 こいのうた	大塚愛 GO! GO! 7188	2006.10.18 2003.04.30	AVT TO
● ダブル・プラチナ TREE CLIMBERS 涙(ナダ)そうそう Winter Love	木村カエラ 夏川りみ BoA	2006.08.30 2002.11.29 2006.10.25	C V AV

「着うたフル(R)」

● ダブル・プラチナ テルーの唄	手嵐 葵	2006.07.30	YC
● プラチナ 三日月 夢のうた 永遠にともに バッド・デイ~ついてない日の応援歌 気分上々↑↑ Good-bye days	絢香 倅田来未 コブクロ ダニエル・パウター mihimaru GT YUI for 雨音 薫	2006.10.04 2006.10.11 2004.11.19 2006.02.01 2006.05.03 2006.06.28	WJ AVT WJ WJ UM SR
● ゴールド Real voice WON'T BE LONG 恋愛写真 SAYONARA One Night Carnival ふたりで... ココロオドル -original version- Winter Love ダニー・カリフォルニア	絢香 EXILE & 倅田来未 大塚愛 ORANGE RANGE 氣志團 倅田来未 nobodyknows+ BoA レド・ホット・チリ・ペッパーズ	2006.07.26 2006.10.26 2006.10.18 2006.10.25 2004.12.08 2006.10.18 2005.04.06 2006.10.25 2006.04.05	WJ AVT AVT SR TO AVT KS AVT WJ

※日付は配信開始日

認定基準一覧

音楽ソフト(邦・洋、アルバム・シングル・音楽ビデオ)、音楽配信(着うた(R)、着うたフル(R)、パソコンダウンロードシングル・アルバム)共通

名称	略号	基準
ゴールド	G	10万以上
プラチナ	P	25万以上
ダブル・プラチナ	PP	50万以上
トリプル・プラチナ	PPP	75万以上
ミリオン	M	100万以上
2ミリオン	2M	200万以上
3ミリオン	3M	300万以上

以降、100万毎に賞を設定
基準単位：音楽ソフト・枚、配信・DL(ダウンロード)
※着うた(R)のみダブル・プラチナ以上を顕彰

※AI:ソニー・ミュージックアソシエイテッドレコーズ/
AVT:エイベックス・エンタテインメント/BG:ビーグラム
レコーズ/BM:パーミリオンレコード/BMG:BMG
JAPAN/C:コロムビアミュージックエンタテインメント/
CR:日本クラウン/DF:デフスターレコーズ/DRM:ド
リーミュージック/EP:アップフロントワークス(セティマ
レーベル)/ES:EPICレコードジャパン/FK:ファイブ
ズエンタテインメント/FL:フォーライフミュージックエンタ
テインメント/GN:ジェネオン エンタテインメント/GZ:
ギザ/HSE:Hostess Entertainment Unlimited/HY:東
屋慶名建設/JA:ジェイ・ストーム/JE:ジャニーズ・エ
ンタテインメント/JK:ユナイテッド・アジアエンターテ
イメント/K:キングレコード/KS:キューンレコード/
MC:ミュージチャー・コミュニケーションズ/MH:ソニー・
ミュージックダイレクト/ON:ビーヴィジョン/PAR:プ
ライエイド・レコーズ/PC:ポニーキャニオン/PK:ピッ
コロタウン/PZ:ピザ・オブ・デス・レコーズ/QQ:パー
ムピーチ/RR:ロードランナー・ジャパン/SE:エスエム
イーレコーズ/SI:ソニー・ミュージックジャパンインター
ナショナル/SM:ミュージックレイン/SN:SENHA &
CO./SR:ソニー・ミュージックレコーズ/SV:アニプレッ
クス/TE:テイチクエンタテインメント/TF:トイズファク
トリー/TJC:徳間ジャパンコミュニケーションズ/TO:
東芝EMI/UM:ユニバーサルミュージック/V:ビクター
エンタテインメント/WJ:ワーナーミュージック・ジャパン/
XL:アンリミテッドグループ/YR:アール・アンド・シー

協会からのお知らせ

本文中でもお知らせしましたが、当協会は今年度「Respect Our Music」キャンペーンの第2弾、w-inds.さんの展開を実施中です。全国レコード店でのポスター掲出、当協会公式サイト(PC・モバイル)上での特集ページの設置、アーティスト動画メッセージの発信などを行っています。



Respect
our **MUSIC**

THE RECORD No.566 2007年1月号

社団法人 日本レコード協会 機関誌

発行人 佐藤 修
編集人 田辺 攻
発行日 2007年1月10日
発行 社団法人 日本レコード協会
〒107-0061 東京都港区北青山2-12-16 北青山吉川ビル11F
TEL. 03-6406-0510(代) FAX. 03-6406-0520(代)
URL: <http://www.riaj.or.jp/>

制作協力 株式会社エフピーアイ・コミュニケーションズ

編集後記

新年あけましておめでとうございます。本年もよろしくお申し上げます。
さて、今月号からデザインを一新しました。皆さまに気軽に読んで頂ける様な誌面づくりをと考えております。ご意見ご感想をお待ちしています。

(S)